



## 平成17年7月期 第1四半期業績の概況（非連結）

平成16年11月29日

会社名 ゼネラルパッカー株式会社 (コード番号: 6267 登録銘柄)  
 (URL <http://www.general-packer.co.jp>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名 原 淳  
 問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役管理部長  
 氏名 池澤 晃 (Tel : (0568) 23 - 3111(代表))

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における方法との相違の有無 : 有

- ・ たな卸資産の計上は、前事業年度末の实地棚卸高を基準に算出した帳簿たな卸高によっております。
- ・ 固定資産の減価償却費は、年度見込額のうち当四半期分を計上しております。
- ・ その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。

### 2. 平成17年7月期第1四半期業績の概況（平成16年8月1日 ~ 平成16年10月31日）

#### (1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年7月期第1四半期	615	-	56	-	52	-	31	-
16年7月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年7月期	3,983		401		412		249	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年7月期第1四半期	7	10	-	
16年7月期第1四半期	-		-	
(参考)16年7月期	49	47	-	

- (注)1. 平成16年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の数値は記載しておりません。また、前年同四半期との比較増減率についても記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。
3. 当四半期数値は監査法人による監査を受けておりません。

#### [ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的分動が小さいことから、利益につきましても、売上高に大きく影響を受けるため、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。

当第1四半期における業績は、高額見込み案件等も少ないことから、当初より低く計画していましたが、当第1四半期に売上計上が可能な案件の受注が低迷したことから、売上高は計画を下回る結果となりました。また、高粗利益機種の販売台数も少なく、売上高総利益率が減少したことから、販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが、営業利益は赤字となり

ました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は615百万円、経常損失は52百万円、四半期純損失は31百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年7月期第1四半期	3,997	2,484	62.1	552 52
16年7月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年7月期	4,463	2,587	58.0	567 68

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年7月期第1四半期	105	84	31	1,524
16年7月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年7月期	309	102	213	1,534

[ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期における当社の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、仕入債務の減少や有形固定資産の取得等により前事業年度末に比べ9百万円減少し、当第1四半期末には1,524百万円となりました。

また当第1四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において営業活動の結果獲得した資金は105百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が52百万円、仕入債務が197百万円減少しているものの、売上債権が589百万円減少していること等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動の結果使用した資金は84百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が71百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動の結果使用した資金は31百万円となりました。これは、株式の配当金支払いによるものであります。

3. 平成17年7月期の業績予想(平成16年8月1日～平成17年7月31日)

(中間)

	売上高	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	2,200	208	123
今回修正予想(B)	1,400	0	0
増減額(B-A)	800	208	123
増減率(%)	36.4	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年1月中間期)	2,033	203	122

(通期)

	売上高	経常利益	当期純利益
予 想	百万円	百万円	百万円
	4,300	430	254
前 期 実 績 (平成16年7月期)	3,983	412	249

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 48円71銭

[業績予想に関する定性的情報等]

包装機械業界においては包装機械の需要回復の兆しは一部に見られましたが、全体としては依然として厳しい環境が続いております。このような環境のなかで、当社は営業体制の強化に取り組み、受注の確保に努めてまいりました。

しかしながら、中間期に関しましては、客先業界からの引き合い動向により、主力の給袋自動包装機の販売台数増加を見込んで増収を予想していましたが、中間期に売上計上が可能と見込んでいた案件の設備投資時期が下期にずれ込んだために、約550百万円の計画ずれが発生しました。また、営業体制の再構築による担当地域変更に伴う受注への一時的な影響が発生したとともに、更新需要及び客先新企画需要が今年度の自然災害等の影響もあり延期が発生したため、合わせて約250百万円の見込み違いが発生しました。これらの要因により、中間期の売上計上分の受注が計画通りに伸展せず、期初の予想と大幅な差異が発生する見通しとなりました。

売上高に関しましては、第1四半期に売上計上が可能な案件の受注が低迷(第1四半期受注高は下期以降売上予定分を含めるとほぼ計画通り)したことから、第1四半期で計画を下回るとともに、第2四半期に売上を予定していた受注見込み案件が下期以降へずれ込んでいること等により、当中間期での売上高は期初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。このため、当中間期の売上高予想を1,400百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、コストダウンと販売費及び一般管理費の抑制等に努めておりますが、売上高減少による影響が大きく、期初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。このため、当中間期の経常利益予想を0百万円、中間純利益予想を0百万円に修正いたします。

なお、当通期に関しましては、第1四半期の受注高が前期を上回りほぼ計画通りに推移しているとともに、客先の設備投資時期のずれ込みの影響と期初計画外の新規見込み案件も含めて、下期売上高に貢献が可能な受注見込み案件が十分にあることから、中間期の修正分を回復することは可能であると予想しております。

このため、上記の通り中間期の業績予想を修正いたしますが、通期の業績予想につきましては、平成16年9月7日付「平成17年7月期決算短信(非連結)」に記載の予想と変更はありません。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、十分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. 第1四半期貸借対照表

区分	当第1四半期末 (平成16年10月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成16年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1 現金及び預金	1,524,424		1,534,295	
2 受取手形及び売掛金	901,120		1,490,963	
3 たな卸資産	655,473		684,773	
4 未収入金	167,839		64,601	
5 その他	53,200		32,440	
流動資産合計	3,302,057	82.6	3,807,073	85.3
固定資産				
1 有形固定資産	514,579		482,058	
2 無形固定資産	2,642		2,497	
3 投資その他の資産	177,768		171,377	
固定資産合計	694,989	17.4	655,933	14.7
資産合計	3,997,047	100.0	4,463,007	100.0

区分	当第1四半期末 (平成16年10月31日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成16年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
1 支払手形及び買掛金	922,029		1,119,043	
2 賞与引当金	53,039		23,186	
3 その他	251,432		449,561	
流動負債合計	1,226,501	30.7	1,591,791	35.7
固定負債				
1 退職給付引当金	27,837		27,837	
2 役員退職慰労引当金	258,643		256,135	
固定負債合計	286,481	7.2	283,972	6.3
負債合計	1,512,982	37.9	1,875,763	42.0
(資本の部)				
資本金	251,577	6.3	251,577	5.7
資本剰余金	282,269	7.1	282,269	6.3
利益剰余金	1,942,345	48.6	2,045,244	45.8
その他有価証券評価差額金	8,528	0.2	8,808	0.2
自己株式	655	0.0	655	0.0
資本合計	2,484,064	62.1	2,587,244	58.0
負債資本合計	3,997,047	100.0	4,463,007	100.0

2. 第1四半期損益計算書

区分	当第1四半期 (自平成16年8月1日 至平成16年10月31日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自平成15年8月1日 至平成16年7月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	615,383	100.0	3,983,212	100.0
売上原価	485,158	78.8	2,800,304	70.3
売上総利益	130,225	21.2	1,182,908	29.7
販売費及び一般管理費	186,338	30.3	781,393	19.6
営業利益又は営業損失 ( )	56,113	9.1	401,515	10.1
営業外収益	5,907	1.0	43,461	1.1
営業外費用	1,803	0.3	32,317	0.8
経常利益又は経常損失 ( )	52,009	8.5	412,660	10.4
特別利益			6,403	0.1
特別損失	57	0.0		
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前四半期 純損失( )	52,067	8.5	419,064	10.5
税金費用	20,135	3.3	169,986	4.2
当期純利益又は 四半期純損失( )	31,932	5.2	249,078	6.3

### 3. 第1四半期キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期 (自 平成16年8月1日 至 平成16年10月31日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成15年8月1日 至 平成16年7月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失( )	52,067	419,064
2 減価償却費	7,390	20,744
3 株式公開関連費用		19,925
4 保険返戻金		40,609
5 売上債権の減少額(増加額 )	589,842	394,415
6 たな卸資産の減少額	29,300	83,776
7 未収入金の減少額(増加額 )	100,181	140,925
8 仕入債務の増加額(減少額 )	197,014	198,676
9 役員賞与の支払額		45,000
10 前受金の増加額(減少額 )	50,390	53,380
11 その他	19,021	23,027
小計	207,859	479,493
12 法人税等の支払額	102,557	189,749
13 株式公開関連費用の支払額		19,925
14 保険返戻金の受取額		40,739
15 その他	112	648
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,414	309,911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出	71,105	96,791
2 無形固定資産の取得による支出	220	
3 その他	12,844	5,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	84,169	102,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 株式の発行による収入		235,221
2 自己株式の取得による支出		655
3 配当金の支払額	31,115	21,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,115	213,309
現金及び現金同等物の増加額(減少額 )	9,871	420,931
現金及び現金同等物の期首残高	1,534,295	1,113,364
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,524,424	1,534,295